



MATUSE

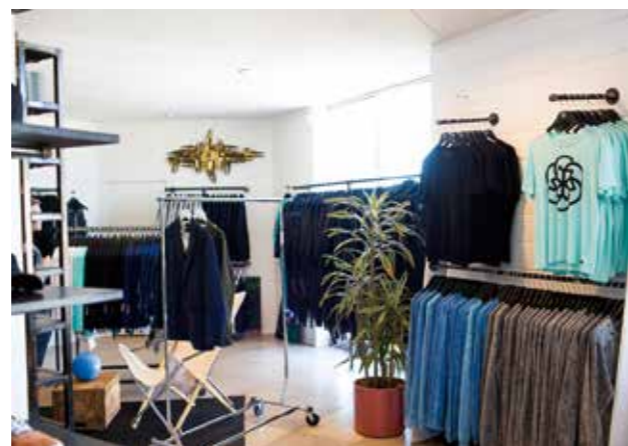
Del Mar

オリジナリティあふれる斬新なウェットスーツ、そしてアパレルを展開するマテューズ。機能性の中にあるデザイン性、あるいは快適性を追及する彼らのオフィスは、洗練された小さなビーチタウン、デル・マーの、なだらかな坂道の途中にあった。

(上) マテューズを愛用するジョエル・チューダー（左端）と社長のジョン（隣）
(下) 絶妙に調子がいいボードショーツと、彼らのキーワード「イチバン」



(上) ヘッドクォーター（本社）と同時に、ショールーム、ラボの機能を果たす
(下) 黒Tに黒プリントなど通好みのアパレル展開にも注目しておきたい



サンディエゴの太陽に照らされる、白い壁に赤をあしらったマテューズらしい外観。実に上品なたたずまいだ

気になっているなら、とにかく試してみるといい



熱を反射し蓄える マテューズ自慢の新素材

ブルーの裏地は、トリアスリットが着用する薄手のウェットスーツに使われる技術を採用した新素材。身体からの熱を反射し、さらに蓄えることで、薄手でも十分な保温性を確保。着用した時に最高のフィット感をもたらす。裏地に施された「イチバン」のプリントのようなちょっとした遊び心もマテューズらしさである。

サンディエゴ・カウンティのビーチタウン、デル・マー。LAやOCとは一味違う明るい太陽が注ぐ、起伏のある上品な町並みがコンパクトにまとまっている。その一角にマテューズはある。オフィスではなく、ショップではなく、ショールーム。
ブラックスポットと名付けたこの空間には、「アウトドアで使う、最先端の機能性とデザイン性を備えたプロダクト」というマテューズの哲学が表現されている。マテューズのウェットスーツやアパレルだけではなく、日本のスノーピークのコーナーが設けられているのも「いいものはいい」と考える彼らの姿勢の表れだろう。
石油由来ではなく石灰を原料とするジオブレインや、トリアスロンのための技術を採用した裏地素材など、マテューズのウェットスーツは既成の概念にとらわれないオリジナリティを追求。足のつま先側が少し長くなっていたり、ポケットが少なかったり、彼らがアメニティと呼ぶ小技もうれしい。
アパレルのデザインも、立体裁断を施し厚地だけれどフィットするパーカーなど、すっきりと斬新で機能的。他とは違うマテューズらしさをすぐに感じさせる。今春から日本でも本格的に展開されるから、注目しておきたい。